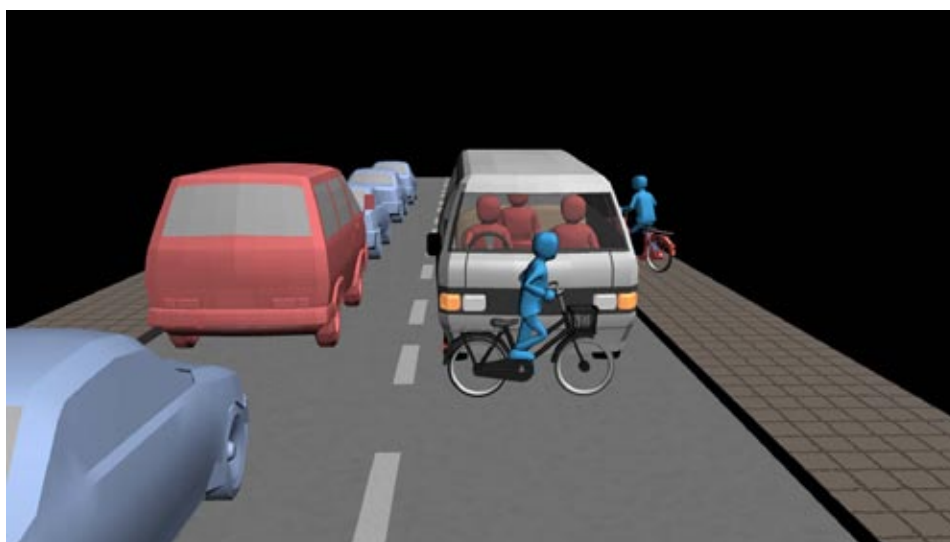


ニュース番組のクオリティを支える映像制作



藤村 健一氏（左）、吉村 研氏



「VOICE」交通事故の再現

使用製品

- Adobe Creative Suite 3
Production Premium
- Adobe Premiere Pro CS3
- Adobe After Effects CS3
- Adobe Photoshop CS3 Extended

近畿広域圏を放送対象地域とする毎日放送（MBS）は、90年に現在の本社（大阪市北区）に移転、2001年にはユニバーサル・スタジオ・ジャパン（USJ）内にハイビジョンスタジオを設置しており、局全体においてもデジタル放送に向けたHD体制を整えている。

技術局 制作技術センター ポスプロ・CG セクションでは、ニュースやドラマなど、主に自局制作番組のCG制作を担当しており、デジタル処理によるテロップ、動画、番組タイトルなどを作成している。特に、平日の月曜～金曜、夕方6時16分から放送されているローカルニュース番組『VOICE』では、5秒から10秒ほどの解説用再現CG動画がよく用いられている。USJスタジオにおいて撮影・収録した番組に使われるCG制作も同セクションが行っている。

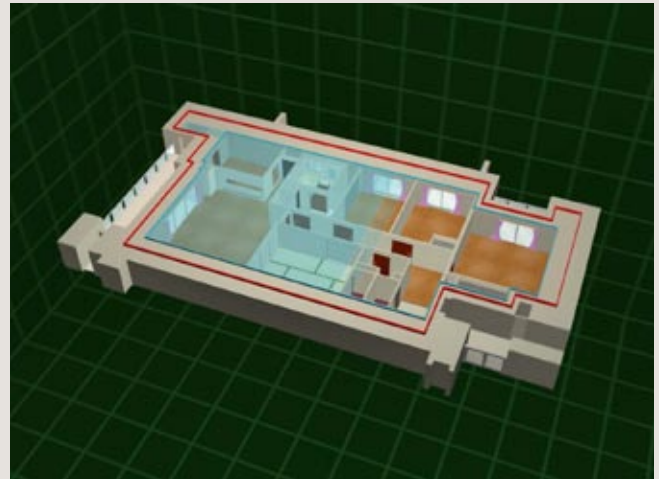
「例えば2005年に起こった大きな出来事である福知山線脱線事故では、電車がどのようなスピードで、どのように脱線していったかをCGで再現しました。当時は線路の傾きなど技術的な面が注目されましたが、

これについてはいくら口頭で解説しても理解し難い部分です。再現ムービーがあれば、より視聴者の理解を高めることができます。しかし、事故の場合、数時間単位で情報が次々としてくるため、この事故だけでも10種類以上のムービーを作りました」と、ポスプロ・CGセクションの副部長 藤村 健一氏は話す。

制作においては「ニュースの発信に間に合わせる事が一番の目標」という状況下のもと、同セクションは、2004年に編集システム Bluefish444 HD | Lust を導入した。「当方の再現ムービーは主に3DCGで作成しており、それをHDCAM（放送業務用HD記録フォーマット）テープへ出力してニュース番組を構成する素材としてENGセンターに渡します。ENG



「VOICE」高層マンション建築予定



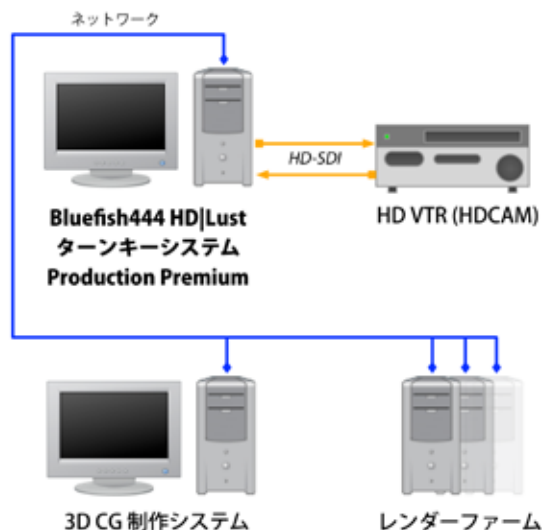
「VOICE」マンションの面積のまぎらわしい表示

センターは即時性を重視しており、テープの利用も頻繁です。Bluefish444 HD | Lustはこのテープへの書き出しに、リアルタイムに高品質で対応しており、それが選択した大きな理由でした。さらに、搭載されているソフトウェアは、Adobe® Premiere® Pro や Adobe® After Effects® など、CG制作を行うスタッフになじみの深いアドビ製品であることや、放送のキー信号をサポートしていることなどもあります」と藤村氏は言う。

複雑な3DCGには、専用の分散レンダリングファームも設置しており、3DCGで作成した連番ファイルをBluefish444 HD | Lustに送る。必要で

あれば、After Effectsでエフェクトなどの加工を加え、またPremiere Proでカラコレを行いながら、アニメーションの確認を行っていく。OKであれば、Premiere Proで書き出しを行うというワークフローを構築している。

「時間が限られていることもあり、あまり3DCG自体の作り込みまでには至りませんが、ニュース解説の趣旨を踏まえたムービーを作るよう努めています。また、3DCGで加工を加えたことによって発生するレンダリング時間より、After Effectsでのレンダリング時間の方が早いケースが多く、可能な限り、エフェクト類はAfter Effectsで処理するようにしています。グラフや表を用いた数字の伸び率の解説のように、3Dを必要としない





「VOICE」 外来種のタニシの説明

2Dアニメーションの場合は、Adobe® Photoshop® や After Effects でムービーを作成します」と話すのは、主に3DCGのモデリングやムービーなど、CG制作を担当している吉村 研氏だ。

ポストプロ・CGセクションのテロップ制作には、専用の機材を設置している。「専用機材はリアルタイムにテロップの挿入が行えるのですが、文字自体は非常にシンプルなものです。もう少し、デザイン性に富んだ文字や飾りを作成したい場合、Photoshopで加工します。テロップシステムは一元管理のもと、リアルタイム性を保持しており、Photoshopで加工したテロップも瞬時にオンエアが可能です。アドビの製品は、それぞれのソフト間の連携がはかられている点の使い勝手が非常によく、当セクションにおいてのコアツールとなっています」(藤村氏)。

お問い合わせ先

アドビ製品は、お近くのアドビ認定ディーラー (AAD: Adobe Advanced Dealer) でお買い求めください。AADリストをはじめとする最新情報は、アドビシステムズホームページ (www.adobe.com/jp) で入手して下さい。製品の購入に関する詳細はカスタマーサービス (tel.0570-067337【ナビダイヤル】) へお問い合わせください。Adobe Open HD 認証編集システムの詳細は、Adobe Pro Video Reseller (www.adobe.com/jp/motion/pvr) へお問い合わせください。

アドビシステムズ株式会社 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー・www.adobe.com/jp
 Adobe Systems Incorporated 345 Park Avenue, San Jose, CA 95110-2704 USA・www.adobe.com

カスタマーサービス (製品に関するお問い合わせ) 0570-067337 (ナビダイヤル)

アドビストア (注文専用) フリーダイヤル 0120-61-3884

受付時間 9:30~17:30 土、日、祝日および弊社指定休日を除く

※アドビストアはアドビのオンラインストアです。

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Premiere Pro および After Effects、Encore、Photoshop、Illustrator は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。
 © 2008 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Printed in Japan.

